

## 地域医療ネットワークのための市民アンケート結果報告

実施期間 平成26年8月29日（金）～平成26年9月8日（月）

対象者 小学校3年生及び中学校3年生の保護者及びその家族  
(1,296人×2組)  
老人クラブ囲碁大会参加者 60人 計2,652人

### アンケート内容

市内の医療体制について  
医療機関の利用方法について  
終末期の医療等について  
病気の予防について  
介護について

回収人数及び回収率 1,695人・63.9%

うち 男性 674人  
女性 1,021人  
50歳未満 1,488人  
50歳以上 207人  
地区1（総社西・総社東・総社北・池田・常盤・清音） 1,076人  
地区2（服部・阿曾・三須・山手） 289人  
地区3（秦・神在・久代・山田・新本） 262人  
地区4（日美・下倉・水内・富山） 68人

## 市民アンケート結果のポイント

### 1 市内の医療体制について

- 問2 **日曜・祝日の当番医の存在及び必要性** 90%以上  
市内に制度が浸透しているといえる。
- 問3 **夜間（19時～21時）の当番医の存在** 全体的には65%の人が認知
- 問4 **救急病院がどこか知らない人** 6割強
- 問5 **市内の病院・医院の数** 少ない又は特定の診療科が少ないと答えた人は65%強
- 問5-1 **必要とする診療科** 皮膚科26.6%, 整形外科13.6%, 産婦人科10.6%の順に高く, 外科や精神科の割合は10%未満
- 問5-2 **総社市の医療介護環境** 概ね以上満足している人は65~6%程度

### 2 医療機関の利用方法について

- 問1 **医療費の適正利用を意識している人** 9割以上
- 問2 **かかりつけ医** 8割を超える人が持っている。
- 問3 **市内のかかりつけ医へ行く人** 9割近く
- 問4 **家の近くの医療機関を紹介** 行かない人が13%（223人）
- 問5 **転院をすすめられた場合** 約84%の人は了承
- 問6 **地域連携パスなどにより情報を共有すること**に対して、  
同意することを含め約85%の人が抵抗はない。

### 3 終末期の医療等について

- 問1 **2025年問題を認識している人** 1割にも満たない。  
周知していくのが行政の役割
- 問2 **在宅医療** 6割の人が認識
- 問3 **亡くなる時の場所** 自宅が46%で病院やホスピスも20%以上。介護施設8%
- 問4 **治癒見込みのない場合に入院し続けたいと望む人** 7%程度  
**自宅やホスピスで療養したいと望んでいる人** 9割近く
- 問5 **「エンディングノート」の認知度** 6割強
- 問6 **エンディングノートを書かないと思う人** 6割近く。  
リビングウィルを意識していただくような研修の必要性を感じた。

### 5 介護について

- 問1 **介護を受けたい場所** 介護施設を望んでいる人が45%, 自宅が3割, 高齢者専用住宅, 女性では2割超
- 問2 **介護が必要になった場合** 家族以外の介護専門職約67%, 女性では約73%